

環境活動の沿革 (年度)

- 1992年
 - 環境保護推進部の発足
 - マンガン乾電池中の水銀全廃
- 1993年
 - 新入社員向け環境教育の開設
 - 積層電池中の水銀全廃
 - 特定フロンの全廃(いわき電子以外)
- 1994年
 - 「環境憲章」の制定
 - 中堅社員向け環境教育の開設
- 1995年
 - 全社環境管理規定の制定
 - 環境行動計画の策定
 - FDK環境管理委員会の発足
 - 特定フロンの全廃(全工場)
 - トリクロロエタンの全廃
- 1996年
 - 環境管理標準委員会の発足
 - 環境管理標準の制定
- 1997年
 - ISO14001 認証取得活動のキックオフ
 - 環境ニュース第一号発行
 - FDK環境スローガンの募集・決定
 - ISO14001 環境管理システムの構築
- 1998年
 - 国内5工場でISO14001 認証取得
 - 環境保護推進部を環境管理部に改称
 - 厦門FDKが海外工場初のISO14001 認証取得
- 1999年
 - 国内外3工場でISO14001 認証取得
 - 土壌汚染調査結果の公表
 - 土壌汚染対策実施
- 2000年
 - 第二期環境行動計画の策定
 - 富士通環境貢献賞受賞
 - コージェネレーションシステムを導入(湖西工場)
 - 作業服をペットボトルからの再生リサイクル品に変更
- 2001年
 - 環境報告書を発行(FDK環境報告書2001)
 - 海外協力「国際緑化センター」に参画
 - PRTR化学物質管理システム運用開始
 - 社内OA品リユースのための「フリーマーケット」開設
- 2002年
 - 「FDK環境方針」の制定
 - 環境報告書2002発行
 - 海外2工場、国内1社がISO14001 認証取得
 - 環境管理部を環境・品質技術センターに改称
 - リユースのための「フリーマーケット」拡充
 - 各種の全社キャンペーンを展開
 - 省エネルギーキャンペーン
 - 環境問題啓発キャンペーン
 - コピー枚数削減キャンペーン
 - エコドライブ、アイドリングストップキャンペーン
- 2003年
 - 第三期環境行動計画の策定
 - FDKグループ環境ポスターの募集と掲載
 - 環境報告書2003発行
 - FDKグループ環境負荷化学物質データベース(ECO-DB)の導入
 - 富士通環境貢献賞受賞
- 2004年
 - 環境・品質技術センターを環境技術センターに改称
 - 含有化学物質管理委員会の発足
 - 環境報告書2004発行
 - 「平成16年度エネルギー管理優良工場(電気部門)中部経済産業局長表彰」を受賞
 - 国内外のグループ全生産拠点においてISO14001 認証取得完了
 - 国内全生産拠点において廃棄物ゼロエミッションを達成
- 2005年
 - 2005年4月に開設した富積電子の台中工場がISO14001 認証取得
 - 環境報告書2005発行
 - 小型チップ部品「MIPF2520Dシリーズ」が初のスーパーグリーン製品に認定される
- 2006年
 - 第四期環境行動計画の策定
 - 社会・環境報告書2006発行
 - (株)富士電化環境センターがISO17025 認定取得
- 2007年
 - 社会・環境報告書2007発行